

令和元年度 25人を基本とする少人数教育の計画的・段階的導入検討に係る調査実施要項

1 調査の目的

山梨県教育委員会では、一人一人の子供の個性を大切にしながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、豊かな心を育成することを目的に、小学校第1, 2学年で30人, 小学校第3学年以上で35人の学級編制を可能とする少人数教育「はぐくみプラン」を実施している。

よりきめ細かで質の高い教育を実現するための、25人を基本とする少人数教育の計画的・段階的導入に向けた調査を実施し、学校現場及び保護者の意見を把握する。

2 調査実施時期 令和元年7月11日(木)～令和元年8月5日(月)

3 調査対象

公立小・中学校の校長

はぐくみプラン実施校の学年主任

はぐくみプラン実施校の小学校6学年及び中学校3学年の任意の1学級の保護者

	学校長	学年主任	保護者
小学校	167名	約420名	約540名
中学校	80名	約140名	約730名
計	247名	約560名	約1,270名

4 調査内容

(1) 学校長

25人を基本とする少人数教育の導入について、学校経営の視点からの意見。

(2) 学年主任

25人を基本とする少人数教育の導入について、学年及び学級経営の視点からの意見。

(3) 保護者

25人を基本とする少人数教育の導入について、小学校6年間、もしくは小中学校9年間の児童生徒の様子を踏まえた保護者の視点からの意見。

5 調査方法

【各学校】

(1) 調査ファイルのダウンロード

総合教育センターホームページのピーチウェアから、【様式1】、【様式2-1】～【様式2-6】、【様式3-1】、【様式3-2】をダウンロードする。

(2) 回答(選択式, 記述式)

学校長	【様式1】に回答を入力
各学年主任	【様式2-1】～【様式2-6】の該当する学年のファイルを使用して回答を入力 ※様式2-1は第1学年用, 様式2-2は第2学年用であり, 6学年分を作成してある。
保護者	【様式3-1】を保護者に配付。回収後, 【様式3-2】にまとめる。

(3) 調査ファイルの提出

- ・入力した【様式1】、【様式2-1】～【様式2-6】、【様式3-2】について、ファイル名を変更せず上書きし、ピーチウェアで提出する。

※締切 【様式1】、【様式2-1】～【様式2-6】は、7月26日(金)

【様式3-2】は、8月5日(月)

- ・回答した全ての様式の紙媒体を、市町村(組合)教育委員会に提出。

【市町村(組合)教育委員会】

市町村(組合)教育委員会は、管下の学校から提出された紙媒体【様式1】、【様式2-1】～【様式2-6】、【様式3-2】を確認する。義務教育課への提出の必要はない。

【様式 1】

学校長アンケート

学校名 立 学校

学校長名

山梨県教育委員会では、学習、生活両面にわたりきめ細かな指導を行うため、小学校第1、2学年で30人、小学校第3学年以上で35人の学級編制を可能とする少人数教育「はぐくみプラン」を実施しています。

きめ細かで質の高い教育を実現するための少人数教育の更なる充実に向け、校長先生のご意見をお聞かせください。

ここでは、「はぐくみプラン」を拡大し、25人を基本とする少人数教育を計画的・段階的に導入する場合、現状よりも少人数での指導を望む学年について、また、どのような教育効果が期待されるか等について、設問を作成しています。貴校の実態を踏まえ、広く本県の児童生徒にふさわしいと考えられる少人数教育について、回答をお願いします。

問1 今年度の学級編制の状況について、お答えください。
各学年の学級数（特別支援学級を除く）を選択し、編制の状況について当てはまるものを次のa～cの中から選択してください。

- a : 標準の学級編制
- b : はぐくみプランによる少人数学級編制
- c : はぐくみプランによるアクティブクラス

学年	学級数	編制の状況	学年	学級数	編制の状況
第1学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 学級	<input style="width: 30px;" type="text"/>	第2学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 学級	<input style="width: 30px;" type="text"/>
第3学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 学級	<input style="width: 30px;" type="text"/>	第4学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 学級	<input style="width: 30px;" type="text"/>
第5学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 学級	<input style="width: 30px;" type="text"/>	第6学年	<input style="width: 30px;" type="text"/> 学級	<input style="width: 30px;" type="text"/>

問2 25人を基本とする少人数教育の計画的・段階的導入を希望しますか。希望の有無を選択してください。

※希望する場合・・・問3から問8に回答してください。

※希望しない場合・・・理由を記入し、問8に回答してください。

希望の有無

希望しない理由

問3 25人を基本とする少人数学級を計画的・段階的に導入するとしたら、まず、どの学年を何人の編制にすることが望ましいと考えますか。最も望ましいと考える校種・学年と、1クラス当たりの人数を選択してください。
 ※1クラス当たりの人数は、これまでの「はぐくみプラン」の拡充の経緯を踏まえ、30人と25人を選択肢として設定しています。

校種・学年			人
-------	--	--	---

問4 問3でその学年を選んだ理由を、下の①～⑪から3つ以内で選んでください。当てはまる理由がないときは、その他に記入してください。

① 一人一人によりきめ細かで手厚い指導が必要な時期だから。	
② 学習内容も難しくなり、学力の個人差が大きくなる時期だから。	
③ 授業時数や学習内容が増加し、児童生徒の負担が大きくなる時期だから。	
④ 生活習慣をしっかり身に付けさせる必要がある時期だから。	
⑤ 発達段階において悩みが多く、不安定な時期だから。	
⑥ 人間関係が大きく変化する時期だから。	
⑦ いじめなど、児童生徒間のトラブルが生じやすい時期だから。	
⑧ 不登校及び不登校傾向を示す児童生徒が増える時期だから。	
⑨ 進学や就職などの進路を決定する時期だから。	
⑩ 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に必要なだから。	
⑪ 学年間の円滑な移行に必要なだから。	

その他

問5 問3で回答した学年の次に、少人数学級の更なる拡大が望ましいと考える校種・学年と、1クラス当たりの人数を選択してください。

校種・学年			人
-------	--	--	---

問6 問5で、その学年を選んだ理由を、下の①～⑪から3つ以内で選んでください。当てはまる理由がないときは、その他に記入してください。

① 一人一人によりきめ細かで手厚い指導が必要な時期だから。	
② 学習内容も難しくなり、学力の個人差が大きくなる時期だから。	
③ 授業時数や学習内容が増加し、児童生徒の負担が大きくなる時期だから。	
④ 生活習慣をしっかり身に付けさせる必要がある時期だから。	
⑤ 発達段階において悩みが多く、不安定な時期だから。	
⑥ 人間関係が大きく変化する時期だから。	
⑦ いじめなど、児童生徒間のトラブルが生じやすい時期だから。	
⑧ 不登校及び不登校傾向を示す児童生徒が増える時期だから。	
⑨ 進学や就職などの進路を決定する時期だから。	
⑩ 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に必要なだから。	
⑪ 学年間の円滑な移行に必要なだから。	

その他

問7 少人数学級編制を更に拡大する場合、どのようなことを期待しますか。期待することを下の欄に記入してください。

--

問8 少人数学級編制を更に拡大するときの課題として考えられることがあれば、下の①～⑨から3つ以内で選んでください。当てはまる課題がないときは、その他に記入してください。課題はないとお考えであれば、記入の必要はありません。

① 児童生徒同士の切磋琢磨や競い合いが不足するおそれがある。	
② 児童生徒が多くの子と触れ合う機会が減る。	
③ 球技や合奏、学校行事の取組など、集団活動がやりにくいことがある。	
④ 個人の能力差が明らかになり、序列化がおきやすくなる。	
⑤ 少人数学級による学習効果を高めるために、教師の力量の向上が必要となる。	
⑥ 加配教員によるTTや少人数指導の方が高い学習効果が望まれる。	
⑦ 授業のコマ数が増え、教科によっては担当する教師が足りなくなる。	
⑧ 学校施設に余裕がなく、教室の確保が難しい。	
⑨ 学校施設の増設や教員の人件費など、財政負担が大きくなる。	

その他

--

ご協力ありがとうございました。

【様式 2 - 1】

学年主任アンケート（第1学年）

学校名 立 学校

山梨県教育委員会では、学習、生活両面にわたりきめ細かな指導を行うため、小学校第1、2学年で30人、小学校第3学年以上で35人の学級編制を可能とする少人数教育「はぐくみプラン」を実施しています。

きめ細かで質の高い教育を実現するための少人数教育の更なる充実に向け、学年主任である先生方のご意見をお聞かせください。

ここでは、「はぐくみプラン」を拡大し、25人を基本とする少人数教育を計画的・段階的に導入する場合、現状よりも少人数での指導を望む学年について、また、どのような教育効果が期待されるか等について、設問を作成しています。貴校の実態、担当する学年及び学級の様子を踏まえ、広く本県の児童生徒にふさわしいと考えられる少人数教育について、回答をお願いします。

問1 25人を基本とする少人数教育の計画的・段階的導入を希望しますか。希望の有無を選択してください。

※希望する場合・・・問2から問7に回答してください。

※希望しない場合・・・理由を記入し、問7に回答してください。

希望の有無

希望しない理由

--

問2 25人を基本とする少人数学級を計画的・段階的に導入するとしたら、まず、どの学年を何人の編制にすることが望ましいと考えますか。最も望ましいと考える校種・学年と、1クラス当たりの人数を選択してください。
 ※1クラス当たりの人数は、これまでの「はぐくみプラン」の拡充の経緯を踏まえ、30人と25人を選択肢として設定しています。

校種・学年			人
-------	--	--	---

問3 問2でその学年を選んだ理由を、下の①～⑪から3つ以内で選んでください。当てはまる理由がないときは、その他に記入してください。

① 一人一人によりきめ細かで手厚い指導が必要な時期だから。	
② 学習内容も難しくなり、学力の個人差が大きくなる時期だから。	
③ 授業時数や学習内容が増加し、児童生徒の負担が大きくなる時期だから。	
④ 生活習慣をしっかり身に付けさせる必要がある時期だから。	
⑤ 発達段階において悩みが多く、不安定な時期だから。	
⑥ 人間関係が大きく変化する時期だから。	
⑦ いじめなど、児童生徒間のトラブルが生じやすい時期だから。	
⑧ 不登校及び不登校傾向を示す児童生徒が増える時期だから。	
⑨ 進学や就職などの進路を決定する時期だから。	
⑩ 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に必要なだから。	
⑪ 学年間の円滑な移行に必要なだから。	

その他

問4 問2で回答した学年の次に、少人数学級の更なる拡大が望ましいと考える校種・学年と、1クラス当たりの人数を選択してください。

校種・学年			人
-------	--	--	---

問5 問4で、その学年を選んだ理由を、下の①～⑪から3つ以内で選んでください。当てはまる理由がないときは、その他に記入してください。

① 一人一人によりきめ細かで手厚い指導が必要な時期だから。	
② 学習内容も難しくなり、学力の個人差が大きくなる時期だから。	
③ 授業時数や学習内容が増加し、児童生徒の負担が大きくなる時期だから。	
④ 生活習慣をしっかり身に付けさせる必要がある時期だから。	
⑤ 発達段階において悩みが多く、不安定な時期だから。	
⑥ 人間関係が大きく変化する時期だから。	
⑦ いじめなど、児童生徒間のトラブルが生じやすい時期だから。	
⑧ 不登校及び不登校傾向を示す児童生徒が増える時期だから。	
⑨ 進学や就職などの進路を決定する時期だから。	
⑩ 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に必要なだから。	
⑪ 学年間の円滑な移行に必要なだから。	

その他

--

問6 少人数学級編制を更に拡大する場合、どのようなことを期待しますか。期待することを下の欄に記入してください。

問7 少人数学級編制を更に拡大するときの課題として考えられることがあれば、下の①～⑨から3つ以内で選んでください。当てはまる課題がないときは、その他に記入してください。課題はないとお考えであれば、記入の必要はありません。

① 児童生徒同士の切磋琢磨や競い合いが不足するおそれがある。	
② 児童生徒が多くの子と触れ合う機会が減る。	
③ 球技や合奏、学校行事の取組など、集団活動がやりにくいことがある。	
④ 個人の能力差が明らかになり、序列化がおきやすくなる。	
⑤ 少人数学級による学習効果を高めるために、教師の力量の向上が必要となる。	
⑥ 加配教員によるTTや少人数指導の方が高い学習効果が望まれる。	
⑦ 授業のコマ数が増え、教科によっては担当する教師が足りなくなる。	
⑧ 学校施設に余裕がなく、教室の確保が難しい。	
⑨ 学校施設の増設や教員の人件費など、財政負担が大きくなる。	

その他

ご協力ありがとうございました。

【様式3-1】

保護者アンケート

山梨県教育委員会では、学習、生活両面にわたりきめ細かな指導を行うため、小学校第1、2学年で30人、小学校第3学年以上で35人の学級編制を可能とする少人数教育「はぐくみプラン」を実施しています。（国の基準では、1学級の人数を、小学校第1、2学年は35人、小学校第3学年以上では40人を上限としています。）

きめ細かで質の高い教育を実現するための少人数教育の更なる充実に向け、小学校の6年間、もしくは小中学校の9年間のお子さんの様子を振り返り、保護者の立場からご意見をお聞かせください。

問1 現在実施している「はぐくみプラン」において規定されている人数を見直し、25人を基本とする少人数教育を計画的・段階的に導入することは必要だと思いますか。

※必要だと思う場合・・・問2、問3に回答してください。

※必要ではないと思う場合・・・理由を記入してください。

どちらかに○をつけてください

必要だと思う	<input type="checkbox"/>
必要ではないと思う	<input type="checkbox"/>

→ 問2へ

必要ではないと思う理由

問2 25人を基本とする少人数学級を計画的・段階的に導入するとしたら、まず、どの学年を何人の編制にすることが望ましいと考えますか。最も望ましいと考える校種・学年と、1クラス当たりの人数を選択してください。

望ましいと考える校種・学年を一つ選んでください。		
校種・学年	現在の基準	○を記入
小学校1年生	30人	
小学校2年生	30人	
小学校3年生	35人	
小学校4年生	35人	
小学校5年生	35人	
小学校6年生	35人	
中学校1年生	35人	
中学校2年生	35人	
中学校3年生	35人	



望ましいと考える1クラス当たりの人数に○をつけてください。	
25人にすることが望ましい	
30人にすることが望ましい	

問3 問2でその学年を選んだ理由を、下の①～⑪から3つ以内で選んでください。当てはまる理由がないときは、その他に記述してください。

① 一人一人に、よりきめ細かで手厚い指導が可能になるから。	
② 学習内容も難しくなり、学力の個人差が大きくなる時期だから。	
③ 授業時数や学習内容が増え、子供の負担が大きくなる時期だから。	
④ 生活習慣をしっかりと身につけさせる必要がある時期だから。	
⑤ 発達段階において悩みが多く、不安定な時期だから。	
⑥ 人間関係が大きく変化する時期だから。	
⑦ いじめなど、児童生徒間のトラブルが起こりやすい時期だから。	
⑧ 不登校及び不登校傾向を示す子供が増える時期だから。	
⑨ 進学や就職などの進路を決定する時期だから。	
⑩ 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に必要だから。	
⑪ 学年ごとの人数の差を減らすことで、スムーズな進級が可能になるから。	

その他

ご協力ありがとうございました。